

久万高原ミュージアム ニュースレター

第005号

2025年11月



発行：久万高原町まちづくり戦略課
観光文化施設係

学芸員の本棚 見せます！ 本からのぞく学芸員の仕事

2025年12月6日（土）に、久万高原町商店街にあるまちなか交流館とゆりラボにて、「久万高原の小さなブックマルシェ」が開催されます。その中のイベントとして、ミュージアムトーク「学芸員の愛読書、こっそり教えます」と題し、学芸員3名が日々の活動を支える様々な本についておしゃべりします。展示や研究と本の関係や、専門家ならではの読み方、思わず笑ってしまうようなマニアックな雑誌まで盛りだくさんです。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください！

日 時：2025年12月6日（土）
場 所：まちなか交流館展示室
(久万高原町久万134)
参加費：無料（定員30名）

お申込みは
こちらから



KUMAKOGEN small BOOK MARCHE



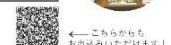
ミュージアムトーク 「学芸員の愛読書、こっそり教えます」

曲河山岳博物館（久万高原町美術館）町立久万美術館それぞれの学芸員が、展示・講評・研究・読み聞かれるなど様々な本について語ります！

●安田晶平（曲河山岳博物館学芸員）
「マニアックすぎる昆虫図鑑」
●直藤浩太朗（久万高原天体観測研究学芸員）
「天文現象と宇宙論」
●本田香織子（町立久万美術館学芸員）
「図録という、もうひとつの展示室」

開催時間 14:00-15:00
会場 まちなか交流館 展示室
(愛媛県上浮穴郡久万高原町久万134)
参加費用 無料
定員 30名（定員が埋めれば、当日飛び入り参加もOK！）

お問い合わせ・申込み
町立久万美術館 TEL:0892-23-2881
(氏名・年齢・住所・電話番号をお書き下さい)



← こちらからも
お申込みいただけます！

開催中の展示

町立久万美術館 2025年度企画展 「菅亮平 The Long Wait」

◎期間：12月7日（日）まで

これから開催される展示

町立久万美術館 2025年度コレクション展 WALKS 歩くこと

◎期間：12月20日（土）～2026年4月19日（日）
歩行は単なる移動手段に留まらず、思索や観想と結びつくことで特殊な意味を帯びます。芸術家たちにとって、歩くという行為はどのような意味を持つのでしょうか。本展では、当館のコレクションをもとに、芸術家と歩行の関係性について考えてみたいと思います。

11月からのイベント

久万美・企画展 学芸員による作品解説
◎11/22(土) 14:30～15:00
◎場所：町立久万美術館（申込不要）

美術館で天体観測！
◎12/5(金) 18:30～19:30
◎場所：町立久万美術館



曲河山岳博物館 夜の講座
「屋敷林とヒグマの話」
◎12/19(金) 19:00～20:15
◎場所：町産業文化会館研修室



久万美・コレクション展 学芸員トーク
◎1/17(土) 14:30～15:00
◎場所：町立久万美術館（申込不要）

イチオシ！ミュージアムグッズ

ホトノサマ（山岳）



久万高原町の田んぼにすむ絶滅危惧種、トノサマガエルをモチーフにした精霊「ホトノサマ」のピンバッジが爆誕しました！

1点800円

星座トランプ（天体）

四季ごとの星座イラストが描かれています。星座の解説付きなので、遊んで楽しめながら覚えることができます。 1点350円



まい 米バッグ（久万美）

お米の袋で作った丈夫で水に強いトートバッグです。裏には久万美術館のオリジナルタグ付き。



Lサイズ(A3対応)500円
Mサイズ(A4対応)・Sサイズ各300円

「おもはく」の出来事：クマワークショップ実施！

11月8日に、ワークショップ「四国のツキノワグマを知ろう」を実施しました。各地でクマによる被害が問題となっていますが、四国の個体群は全部で20頭ほどと絶滅寸前。NPO法人四国自然史科学研究センターの安藤さんをお招きして、ツキノワグマがどのような動物かお話しいただき、参加者同士で、愛媛にクマがいたら、どう付き合ったらしいかなどを考えました。会場には、成獣の毛皮や、実寸大の胎児のぬいぐるみ、触れる糞標本（実物！）などの資料も多数持ち込みいただき、クマについてたっぷり考える1時間となりました。



木の模型の影をスクリーンに映した様子

「くまび」の出来事：菅良平 The Long Wait

9月から始まった企画展「菅良平 The Long Wait」も、いよいよ会期の終盤を迎えました。11月には菅さんの表現手法でもある「模型写真」を体験するワークショップを実施。参加者はワイヤーで木の模型を作り、ライトを当てて生まれる影を撮影しました。模型の形や向き、ライトとの距離を少し変えるだけで、影の形は大きく変化します。その変化を楽しみながら、写真に収めました。企画展は12月7日まで。最後まで多くの方にご覧いただければ幸いです。

「てんたい」の出来事：レモン彗星のイベントを行いました！

レモン彗星（C/2025 A6）が10月下旬に見頃を迎えるました。この彗星は2025年1月にアメリカのレモン山天文台で発見されたものです。4等ほどまで明るくなると予想されたため、久万高原天体観測館でも1週間観測会を実施しました。しかしよく晴れた日はたった1日だけ。残念な結果となりましたが、数分間の晴れ間で少しだけ見えた日もあり、見えた際には大きな歓声があがりました。同時に天文台の望遠鏡で撮影も行っていたため、写真で尾が伸びている様子も見ていただきました。



レモン彗星（10月29日撮影）

企画展図録『Around the Void』がついに完成！！

久万美術館の企画展「菅良平 The Long Wait」の展示風景や、菅さんのこれまでの作品を収録した図録を発行します。全192ページで、写真は90ページ以上にわたり掲載。作品解説や制作活動にも言及したテキストもたっぷり収録した、充実の一冊です。11月23日より久万美術館ミュージアムショップにて販売予定。



図録の制作風景

【連絡先】

面河山岳博物館
愛媛県上浮穴郡久万高原町
若山650番地1
電話：0892-58-2130



久万高原天体観測館
愛媛県上浮穴郡久万高原町
下畑野川乙488
電話：0892-41-0110



町立久万美術館
愛媛県上浮穴郡久万高原町
菅生2-1442-7
電話：0892-21-2881

